THE ROTARY CLUB OF TAKATSUKI　国際ロータリー　第２６６０地区

高槻ロータリークラブ
2018～2019
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

Ⅰ．真実かどうか

Ⅱ．みんなに公平か

Ⅲ．好意と友情を深めるか

Ⅳ．みんなの為になるかどうか

事務所　オーロラモール高槻西武６階　〒569-1116　高槻市白梅町 4-1
TEL　072-683-1158　FAX　072-683-1174
E-mail　takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
例会日　毎週水曜日　12:30～13:30
例会場　オーロラモール高槻西武６階　多目的ホール　TEL　072-684-5379
創　立　1954 年 6 月 15 日
会長　伊藤智秋　**幹事**　石田佳弘　**クラブ運営委員長**　河合一人　**会報担当副委員長**　長山正剛

No.33　　2019 年 3 月 6 日　発行

３月は水と衛生月間

第 3156 回 本日（3/6）の例会

◎　国歌・・・・君が代
◎　ソング・・・奉仕の理想
◎　誕生、結婚、入会記念月御祝
◎　創業記念月御祝
◎　卓話　　川脇　健　君
　　「　百鬼夜行の見える大都会　」
◎　例会後の行事
　　３月度定例理事会

第 3157 回　次週（3/13）の例会

◎　ソング・・・四つのテスト
◎　卓話　　長井　正樹　君
　　「　　」
　卓話　　松下　浩章　君
　　「　　」
例会後の行事
　　第４回被選理事会

◎2/27　出席報告

会員数	出席者数	出席率
52　名	45　名	91.84　%
前々回例会補正後出席率　97.87　% 但し、　Mup　4　名　　欠席者　1　名 出席規定摘用免除有資格者　5　名		

3 月度　記念月御祝

◎誕生記念

清水　利男君　　篠原　光子君
波々伯部廣行君　　飯田　哲久君
浦中　郁文君　　長井　正樹君
小阪　大輔君

◎結婚記念

岩井　祐造・千代子御夫妻　　64 周年
倉本　進　・洋子　御夫妻　　47 周年
白石　純一・玉代　御夫妻　　44 周年
入谷　治夫・恵美子御夫妻　　43 周年
川脇　健　・正子　御夫妻　　39 周年
山室　匡史・啓美　御夫妻　　13 週年

◎入会記念

山口　誠　君　　35 周年
川面　智義君　　19 周年
藤井　敏雄君　　10 周年
河合　一人君　　8 周年
坂野　信一君　　4 周年
山室　匡史君　　4 周年

創業記念月御祝

香西　徳治君　　株式会社村上製作所
　　S　6.3.1　　88 周年
白石　純一君　　株式会社フジワーク
　　S 46.3.1　　48 周年
藤田　貴子君　　ふじた歯科医院
　　H10.3.1　　21 周年

インスピレーションになろう

バリー・ラシン　RI 会長

先週（2/27）の例会から

◎ゲスト・ビジター　　計 6名

京都銀行　高槻支店
支店長　　平元　俊明　様

京都中央信用金庫　高槻支店
支店長　　吉本　昌宏　様

京都中央信用金庫　高槻駅前支店
支店長　　菅原　康晃　様

株式会社 リブハウス
代表取締役　梶村　一太　様

有限会社 北摂保険センター
専務取締役　万屋　祐治　様

京口町てるい　　代表　　照井　直典　様

◎会長の時間

本日は二人三脚例会でございます。改めまして、お客様のご紹介をさせていただきます。
京都銀行　高槻支店
支店長　平元　俊明　様（岩井　祐造　会員）
京都中央信用金庫　高槻支店
支店長　吉本　昌宏　様（藤松　功治　会員）
京都中央信用金庫　高槻駅前支店
支店長　菅原　康晃　様（西田　直弘　会員）
株式会社リブハウス
代表取締役　梶村　一太　様（松下　浩章　会員）
有限会社北摂保健センター
専務取締役　万屋　裕治　様（長山　正剛　会員）
京口町てるい
代表　照井　直典　様（飯田　哲久　会員）
以上、6名様にお越し頂いております。
ロータリークラブは「世界中で良いことをしよう」という思いで活動しております。本日は私共高槻ロータリークラブの活動をご紹介させて頂きます。
まず、公立幼稚園の子ども達と保護者の皆様を巻き込んだ「いのちキラキラ食栽活動」。これは、子ども達が一人一鉢づつの野菜を栽培することで、命の大切さ、その命を糧として生きる人間、友達との協力　親子の会話などを学びます。これは高槻市から補助金を頂いております。ロータリークラブは沢山ございますが、市から補助金を頂いておりますのは高槻ロータリークラブだけです。
そして、今月初めには高槻市島本町の府立高校・ブラスバンド部の合同演奏会を行いました。中学生たちも楽器を持って駆けつけてくれ、総勢500名　市民会館大ホールの１階を埋め尽くす大ブラスバンドによる感動的な演奏会が開催されました。熱気あふれる誠に素晴らしい演奏会でございました。この他にもジャズダンスクラブの合同上演、野球、サッカーと支援することによって　日本の未来を託せる若者の育成に尽力しております。以前には中学生を対象にした英語弁論大会を開催し、多くの学生にオーストラリアで様々な事を学んで頂きました。
当クラブは創立65周年を迎えます。6月12日創立65周年記念式典をグランヴィア大阪で盛大に執り行いますし、6月15日には市民会館大ホールにて60周年からの5か年の事業活動の総括を行います。その時には池谷裕二（いけがや　ゆうじ）先生に講演をして頂き、芥川高校・和太鼓部にも演奏会をしていただく予定しております。この和太鼓部を通じ、シリア難民の支援も行っております。
６月は初旬にロータリーの国際大会がドイツのハンブルクで開催されます。これは世界中のロータリアンが一堂に会す大イベントもございます。
８月になれば大阪府下の高校生を引率し“タイ・バンコック”へ海外研修に参ります。この事業を担当するのが高槻ロータリークラブでございます。
勿論、春にはお花見・夏にはバーベキュー・秋には紅葉狩り等仲間と楽しむ機会もふんだんにございます。
時代と時間の流れの本流を共に走り、未来を創造し、現在を飲み会で楽しみ、過去を懐かしく語り合える、誠に豊穣なる体験があなたをお待ちしております。
是非人生の一頁に高槻ロータリークラブを加えて頂きたいと願います。

◎幹事報告
・3月ロータリーレート　1ドル：110円
・深野会員は会社の人事異動の為2月末日付で、上村会員は定年退職の為3月末日付にで退会されます。

◎深野会員より
・歴史と伝統のある高槻ロータリークラブに入会させていただき、今まで色々な勉強や経験をさせていただきました。入会してからこれまでの3年間で、沢山の深い思い出が出来ました。今後もお誘いいただけるのであれば、高槻ロータリークラブの行事に参加させて頂きたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。最後になりますが、高槻ロータリークラブの益々のご発展と65周年記念事業の盛会を祈念し、また会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。3年間本当にありがとうございました。

◎上村会員より
・急なご報告で大変申し訳ございませんが、定年が正式に決まり、3月末日をもって退会させて頂くことになりました。現在クラブ研修委員会の副委員長を務めさせていただいておりますが、期半ばで退会することを大変心苦しく思っております。入会から約2年9ヶ月間、皆様方のご協力のもと、高槻ロータリークラブの会員として過ごせました事は私の人生の貴重な経験となりました。皆様に感謝申し上げます。退会後、どこかでお会いする機会がございましたら、お声をかけさせていただきます。今後とも宜しくお願い致します。今まで本当にありがとうございました。

◎委員会報告
〇青少年奉仕委員会　　小阪　大輔
・2月21日(木)高槻中学高等学校インターアクトクラブのクリーンハイクが開催されました。生徒9名・顧問の先生1名・ロータリアン7名の合計17名で行いました。ご参加いただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。参加した学生達は、クリーンハイクをする中で先輩方と色々な話ができたと大変喜んでおりました。本当にありがとうございました。

〇クラブ運営委員会　　大木　城司
・4月10日(水)観桜会を開催致します。回覧を回しますので、皆様多数のご参加をお願い致します。宜しくお願い致します。
【日　時】2019年4月10日(水)13：30～
【場　所】彦根城周辺
【出　発】松坂屋前より観光バス 13：30発
【会　費】会員￥10,000- ご家族￥5,000-
【屋形船】乗船される方 ￥1,500-

◎卓話

「　私の履歴書　」　　浦中　郁文

皆さんこんにちは。
１月 16 日に歴史と伝統ある、高槻ロータリークラブに入会させて頂いた浦中　郁文です。どうぞ宜しくお願い致します。本日は貴重な例会の時間をいただきまして誠に恐縮です。つたない話になろうかと思いますが、暫くの間どうぞお付き合いをお願い致します。

私は昭和 43 年 3 月 19 日生まれで満 50 歳です。27 年間連れ添ってもらっている奇特な妻１人・24 歳になる長男・20 歳の長女の 4 人家族です。現在は高槻市南平台 3 丁目でルーマ株式会社の代表取締役を務めております。ルーマ株式会社は主に土木工事、道路舗装工事、宅地造成工事等の民間工事、そして高槻市・大阪府からの公共工事を受注施工させていただいております。土木関連の工事が御座いましたら何なりとお申し付け下さい。宜しくお願い致します。
私の父は大阪市江戸堀出身・母は大分県の朝地町の出身であります。兄と年子という事もあり、母方の実家がある大分県の朝地町で 4500g を超えるビックベイビーとして産声をあげたそうです。その病院が始まって以来の大きな赤ちゃんだったそうです。母はよく、『郁文は全身にカサブタのいっぱいある汚いブクブクの赤ちゃんでやったんやで！』と言っていたのを覚えています。自分がお腹を痛めて産んだ可愛い息子をつかまえて、よくもブクブクの汚い赤ちゃんと言ってくれたものです・・・大きく生まれて、小さく育ち、今ではこうして大きなお腹の立派な中年になり、何とか見返す事が出来たと思っております。私は１歳上に兄・3 歳下に弟・10 歳下に妹の 4 人兄弟の次男として生まれました。
私は小学校までは東淀川区の三国という町に住んでいました。ボロボロの風呂なしアパートに住み、週に２回ほど家族で近所の銭湯に行った事をよく覚えています。大変貧乏でしたがとても楽しい思い出がいっぱいのアパートでした。父と母が毎晩寝る時に作り話をしてくれていまして、父と母は昔俳優をしていて、母の芸名は『烏丸　節子』やったんやと、とんでもない大嘘を聞かされていて、その嘘を中学生になるまで信じていた本当に純粋な子供でした。
母は２番目の子どもは女の子がほしかった様で、幼い頃の私の写真は女の子の服を着た写真ばかりでした。幼稚園に入園するまでは、兄の後ろをチョコチョコと追いかけ、いつもメソメソとしている本当に女の子の様であったと聞いています。所が、幼稚園に入園したとたんに、手のつられない悪がきに変身をしてしまいました。大嫌いな先生の顔に向かって消火器の栓を抜いてぶちまけて、幼稚園中が真っ白になる大騒ぎをおこし、そのお仕置きで別室に連れて行かれ、後ろ手にしばられ１人隔離されたり、好きな女の子にわざと悪戯をしてしまい、その悪戯でとうとうその子が幼稚園に来なくなってしまったりと、いつも父と母に怒られてばかりいました。
小学校に行く頃には体が一番小さいのに、10 人ぐらいの子分を引き連れ、集団で登校する様になりました。登校途中で、近所に住む仲の悪いグループと良くケンカをして、学校に着く頃には服がボロボロになって先生に怒られてばかりでした。兄弟喧嘩もしょっちゅうで、真冬の寒空にパンツ一枚だけの恰好でアパートの屋上にある集団物干し場に兄と二人でよく縛られて放置されていた事を覚えています。
そんな悪ガキが高槻に引っ越してくる事になりました。高槻に引っ越してきた時の印象は『何て田舎に来たんやろう・・・』って思いましたし、『凄く平和な町に来れてホッとした』その様な感じもありました。相変わらずの悪がきぶりはそのままで、中学の入学式の日から大ゲンカになりました。私は小学生の時から兄と空手を習っていたので、師範からは絶対に喧嘩をしては駄目だと言われていましたが、その教えを裏切る形で本当によく喧嘩をしていました。私は高槻市立第９中学校に通っていたんですが、学校では生活指導の先生に追いかけられ、それを逃げる形でそのまま学校から逃亡をしたり、ほぼ毎日、校内放送で校長室に呼ばれる始末で、家に帰るとその事で兄にいつも怒られていたのを思い出します。３年生の時には、面倒見の良い先生が担任になってくれて毎朝家まで迎えに来てくれて一緒に登校したのも今では懐かしい思い出になっています。
勉強は本当にしませんでしたが、唯一 3 年間頑張った事もあります。お小遣いほしさで始めたんですが、中学の 3 年間、新聞配達をしていました。朝刊のみでしたが朝 3 時に起きて安岡寺にある新聞舗で 200 部ほど自転車に積込、配達をしていました。配り終えるのが６時ぐらいになり帰宅をして仮眠をしてそれから登校していました。たまに配るのが面倒になり芥川に新聞をほりなげて帰った事もありましたが、3 年間続けて頑張りました。新聞店主の方がいい方だったから続けられたんだと今では感謝しています。
そんな中学校生活でしたが、高校にも何とか行く事が出来ました。前島に出来た当時新設高校で、学校名は『浪商高校　高槻学舎』です。今では名称も『大阪青凌高等学校』と変わり男女共学の進学校になっている様ですが、私が入学した時は定員割れで人気の無い男子校でした。定員割れの学校でしたので、名前さえ記入すれば当時は入学できたのではないかなと思っています。学校の隣はごみ処理施設があり反対隣は淀の水精神病がありと、あまり環境の良くない学校でしたが、そこで出会った仲間や先生との出会いで学生生活の楽しさを教えてもらいました。中学時代は学校が嫌で嫌で仕方なかったんですが、学校に行くのが楽しくて仕方ないんです。気の置けない仲間に会うのが楽しみで学校に通っていたんだと思います。茨木にあった浪商高校の本校から移って来られた先生も沢山おられたので、流石に先生の指導は厳しかったですし、今では大問題になるような体罰等は当たり前にありました。殴られて当然の様な悪さををしていたのと、先生が本気になって自分達の事を思ってくれていると感じとれたので先生の事を信頼する事も出来ました。当時の愛のムチには今でも本当に感謝しています。勉強は相変わらずそこそこでしたが、アルバイトとディスコ通いは本気で取り組んでいました。当時はディスコ全盛期の時代で、そこで女の子をナンパするのが一番の楽しみでした。その為にアルバイトも一生懸命頑張っていました。その当時はなかなかの色男だったので、ナンパの成功率も好成績でした。
楽しい高校生活もあっという間に終わり次の進路を決める時期になってきます。勉強が出来なかったので大学には行けそうもなく何をすればいいのか悩んでいました。住み込みで明石にある美容室で働いた事もあるのですが、すぐに嫌になり辞めてしまいました。両親が道路の舗装工事業を経営していた事もあり、建築関係の仕事にも少し興味があったので堂島にある大阪デザイナー専門学校の建築課に入学を決め、建築デザイナーになる事を目指し勉強をしました。無事に卒業する事も出来て、憧れの建築デザイン事務所に就職したのですが、その事務所の社長先生と中々うまくい

かず、わずか３ケ月でとうとう先生を殴ってしまい、クビになってしまいました。辛抱の出来ない駄目な若造だったと思います。それからは、バーテンダーやディスコの店員、ホストクラブでのアルバイトをしながら適当に遊ぶ日々が続きました。たまに両親の経営している舗装工事のアルバイトもしましたが、兄が継ぐと思っていましたので、本気で仕事に励むことなく適当に過ごしていました。情けない話ですが、夢も無く楽しい事だけを求めて過ごしていた様に思います。
打って変わって私の兄は自分の夢を見続けて、宮大工の修行を一生懸命取り組んでいました。兄は中学生の時から宮大工になりたいと夢を描き、高校卒業時は特待生で大学に進学が出来たにも関わらず、それを断って京都にある神社仏閣専門の奥谷組に入社して修行を積んでいました。兄はよく私に、『自分は長男やから、いずれ家業を自分が継ぐからお前は早く好きな道を見つけて、好きな事をすればいいから』と慰めとも思える様な優しい言葉を私に言ってくれていました。空手と宮大工をこよなく愛する本当に格好いい兄貴でした。

そんな兄貴が突然亡くなってしまいました。大好きだったバイクの事故でした。結婚してたった３ケ月、24 歳の若さで命を落としてしまったんです。本当にショックでした。今でもこれほどの悲しみを感じた事はありませんし、未だに兄の事を思うと言いようのない悲しみに襲われてしまいます。お通夜・告別式の日は嗚咽をあげて涙したのを思い出します。母は当然、気がふれた様に泣きじゃくり、弟、妹、私は共に悲しみに暮れていましたが、父だけは違いました。私達の前でも、お通夜・告別式の日も一滴の涙すら流さず、ただ淡々と別れの式をこなしていました。参列してくれた人に笑顔すら見せていたのを見た時には、凄く冷たい親父だと腹も立ちましたし、言いようの無い怒りが芽生えて、父をさげすみもしました。でも本当は違いました。ある日、誰ももいないだろうと実家にいった時に、仏壇の前で嗚咽を押し殺しながら涙している父がいました。自分達の前では気丈にふるまってはいましたが、やはり言いようの無い悲しみが父を襲っていたんだと思います。その時の父の姿は忘れる事は出来ません。そんな父の姿を見て、自分は家業を継ぐ決心をしました。

そこから心機一転、真面目に舗装工事の家業に打ち込む事になったのですが、だだ事業の中身を知る事になった時に大きな借金があることを知り漠然としてしまいました。これだけ大きな借金を抱えながら家族、そして従業員を養っていた事に、改めて両親の偉大さと根性に驚かされ、改めて感謝しました。自分で言うのは何なんですが、それからは本当によく働きました。少しでも借金が減る様にと、少しでも会社が発展する為に頑張って仕事をしてきました。そして私が 24 歳の時にルーマ株式会社を設立しました。それまでは舗装工事しかしていなかったのですが、土木工事をする事で事業の発展に繋がると思い、跡を継いだ東淀舗道株式会社、そして新しく設立したルーマ株式会社の２本柱を背負っていく事になりました。色々な困難はありましたが、今では３男の弟が東淀舗道株式会社の代表を務め、それぞれ力を補いながら仕事をさせて頂いています。もし土木工事や舗装工事等のご依頼がありましたら、精一杯いい仕事をさせて頂きますので、是非ご依頼下さい。宜しくお願い致します。
話は変わりますが、私は１９９９年に高槻青年会議所に入会しました。高槻ロータリークラブには JC の先輩方が沢山いらっしゃいますが、特に松下君には大変お世話になっています。当時松下君が高槻祭りの委員長をされていて、かれの本気の取組が素晴らしく恰好よく、それがきっかけで私も現在、安満遺跡青銅祭という高槻の新しい秋のまつりの実行委員長を務めている様に思います。地域への取り組みがいかに大切であり、人との出会いがいかに大切であるかを学ばせていただいております。せっかくご縁を頂き入会させて頂いたので、この高槻ロータリークラブでの活動もこれから頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

これで私の履歴書を終わらせて頂きます。最後までご清聴ありがとう御座いました。

◎卓話

「　ワイン泥棒の話　」　　坂野　信一

坂野です。よろしくお願い致します。

題名「ワイン泥棒の話」ということで、少し古い話になるのですけれども、この一連の出来事を通していろいろ知ることが多かったといいますか、勉強になったといいますか、ある意味、腕に落ちないところなどいろいろ感じるところもありましたので、この機会に私の感想を含めてお話ししていきたいと思います。

このワインの盗難に関しましてはちょこちょこ今までも話題にしてきたのですけれども昨年 2 月にですね、私ども、もりもとの本店店頭におきまして接客中に、隙をつかれまして、40 万と 20 万のワインを持ち逃げされてしまったというものでございます。

弊社もりもとの本店にはワインだけでも 1300 種類ほどが陳列されており 500 円以下のものから、高いものでは 100 万を超すワインも品揃えしてあったりもしています。

昨年 2 月のある日、夕方 6 時くらいですかね、私が本店の売り場にもどりますと、すでに 20 万以上のワインを数本並べて品定めしているお客さんがおりまして、ホテルかなんかのレストランのソムリエさんか何かかなと思っていたりしまして、先に接客している店員もいたのですけれども、しばらくして、ワインに詳しい人をってことで、私がその後、接客を引き継ぎ一応そのお客さん、まあ犯人なのですけれども、にわかに高級ワインの知識を持ち合わせているようで、あれやこれやと細かなことも聞いてきておりました。そのお客さんは、みんなでお金を出し合って 100 万ほどの予算で知人にプレゼントするようなことを言いいながらワインを選んでおりまた。

途中、話をしている中で、自分は職業は弁護士だとも話しており、スーツの襟元に弁護士バッジもつけておりました。弁護士バッジまがいのものが今は、ネットでも売っているようです。

そして、5 本で 100 万ほどのワインの商品が決まり、金額が大きく、当店も偽造カードで痛い目をしたことがあったので、現金払いをお願いすると、仲間に電話し、持って来させるという流れになりました。ことあるごとに携帯でやり取りをしていたのですが、今考えると、実際それは全部一人芝居ということになります。

そして、閉店間際の夜の 9 時前、店内が慌ただしくなったころのふとした隙をついて「今仲間が店の前を通り過ぎた」と言って、店から出て行き、それっきりとなり、そして並べていたワインが 2 本なくなっており、そこでやられたとすべてを察しました。

その男は、夕方 5 時ころから店に来て品定めをしながら結局閉店ぱたぱたし始めた晩の 9 時までの 4 時間、ねばってねばって、そして携帯で何度も仲間とやりとりするしぐさをしながらチャンスを伺っていたということです。

今となって振り返れば、言動が不自然といえば不自然なところもあったような気もしますが、まさかと盗まれ

るとも思っておりませんでしたし、また、もしカード払いをしていたら偽造だったのかとかという疑問もありますが、いいも悪いも堂々と構えており、してやられたというものでした。

とりあえす警察を呼び、事情を話し、電卓に指紋が残っているから調べてほしいと言ったのですが取り合ってもらえず、店内に防犯カメラが何台がありまして、必ず映っているということで､明日改めて電話の後　確認に来るとのことでその場は終わりました。

5月に入って、事情を知る知人より連絡が入り、似たようなワイン泥棒が逮捕されたという記事がネットニュースに載っていたということを教えてもらいました。確認すると、全く手口やり口が同じで、年齢も 40 歳と相応で、これが犯人と確信しました。また、再逮捕となっていましたので 1 回目の逮捕では私のところの盗難は供述していないということです。

すぐさま　逮捕されていた伏見警察署へ情報提供をと電話をかけました。が、しかし、なぜか取り合ってもらえす､改めて電話をくれるということで連絡先を伝えて終わりました。今度は、被害届けを出している高槻警察署へ電話をいれたら､この事件は京都の管轄だから何もできないという返答でした｡結局伏見警察署からも電話はなく、ここでも 警察が言う、改めて電話するというのは 電話しないよ という意味だと納得した次第であります。

あぐねいていたところ、ある府会議員さんの耳に届きまして、その方が大阪府警本部に伝えて頂いたところ、その後、これが不思議なくらい瞬時に高槻警察署刑事課の刑事さんから私に電話がかかって来ました。そして、指紋を取らせてほしい、防犯カメラを確認したいとのことでした。あまりの対応の違いにちょっと私は驚いたのですが、しかし時すでに遅く、指紋は消えており確認できず、防犯カメラの映像も上書きされており証拠はとれません。京都で捕まった犯人が含まれた 10 人ほどの顔写真から こいつですと犯人を指さした程度でした。しかし、調書らしきものを作成して伏見警察署へ送るということでした。

結局犯人は、今回 10 件のワイン泥棒の罪で起訴されたのですけれども､そこにはうちの盗難事件は含まれませんでした｡もやもやが残った私はせめて犯人の様子をみてやろうと裁判の傍聴をすることにしました。

判決まで3回裁判がありましてその内の2回を傍聴してきました｡裁判所と言うと、ロータリーの田渕さんや山室さんには､職業柄ごくどく当然の法廷の風景だと思いますが、私からすると、縁遠く感じられるところであり、足を踏み入れてみると、これがなかなか まるでドラマのような感じで新鮮でした｡趣味で傍聴をしていような人や､大学生が勉強のために傍聴している様子もパラパラ伺えました。

別の部屋での法廷では、テレビカメラが来ており、傍聴するにも並んで雰囲気が違っており､よくよく見てみたら､その日京都府警の警察官の盗撮事件の判決が出るということでした｡話題性があり注目されていたのでしょう。

ワイン泥棒の法廷では､手錠をかけられて法廷に出て来た被告は、間違いなく私が接客した犯人で、被告は前科 3 犯で、覚醒剤の使用経歴もあり、実刑も受けたことのある相当悪い奴でした｡法廷でのやりとりもまた興味深くて被告が、「もうしません、真面目に仕事を探して働きます。」と言っておりましたが、それは非常にしらじらしく検察官が、「犯罪は常習性があり計画的で悪質です」と述べると裁判官が、「仕事が見つからないとまた今後も安易に盗みを続けてしまうのではないですか？」と 被告に言ったりして、すると弁護士も、「ワインを盗んだ酒屋さんへは､お詫びの手紙をそれぞれ書いており、反省しております。」と、言っているのですが、私のところにはそんな手紙は来ておりませんし、犯人が語った10件の盗難金額ワインの銘柄からしたらもっとあるだろうと感じられるもので、案外ずさんな中身に思えました

たまたま隣の席で傍聴していた女性に「おたくもワインを盗まれたのですか」と尋ねたら、これが驚いたことに､「いや被告なっている人は私の付き合っていた彼氏です」と返事が返ってき、これまた たまげました。半年前から付き合っていたらしく、結婚も迫られていたようで、婚姻届を出す間際で、この事態にあわてて弁護士を挟んで関係を精算しとのことでした。彼女は彼氏が（まあ犯人ですが）逮捕されるまでまったく気づかなかったそうです。過去に離婚歴もある犯人は、新たな結婚も都合の良い詐欺まがいの一つだったのかもしれません。

犯人は盗んだワインはネットで転売したり、買取業者へ持ち込んでお金に換えていたとのことです。結局、犯人には 2 年 4 ケ月の実刑の判決が下りました。しかしながら、私のところには盗まれたワインもお金も返っては来ず、盗難保険もおりず､（万引き扱いで、規定での盗難ではないようで､）そこで男気のあるうちの社長は、被害額を、関わった社員に上手に振り分け弁償させました。

この一連の出来事を振り返って感じたのですけれども、まず警察はこの手の窃盗には関心がないんだなと、検挙率が3割程度という日本では軽微な犯罪･被害は　残念ですが、相手にしてくれないんだなあということを感じました。あと、供述も裁判の中身も案外おおまかで検察官の犯人への聴取も厳しいという印象がありましたが、細かい事件では案外そうでもなく思われ、そして、この手の住所の定まらない、無職の男が刑期を終えて出所したところで、その受け皿がない限りは、また繰り返すだろうなと思うところです。

しかしながら、この出来事を通して知ることもたくさんあり、貴重な経験ができたかなというところで今回の卓話の方、終わらせて頂きたいと思います。

皆様、ご清聴ありがとうございました。

◎例会後の行事

〇情報集会開催（於：例会場）

講　　師　　山口　誠　様

参加人数　　39 名

〇新入会員歓迎会（於：つきの井）

参加人数　31 名

◎ニコニコ箱報告

・つたない卓話を聴いて頂き有難うございました。
坂野君

・3年間大変お世話になりありがとうございました。高槻ロータリークラブの今後益々のご発展をお祈りしています。 深野君

・京都銀行 支店長様、京都中央信用金庫 高槻支店 支店長様、京都中央信用金庫 高槻駅前支店 支店長様
本日はお忙しいなかご出席ありがとうございます。日頃はお世話になっております。 羽根田君

・二人三脚例会にお越し頂きありがとうございます。
石田君

・大勢のお客様をお迎え出来ました。藤松委員長ありがとうございます。 伊藤君

・京都銀行 平元俊明様を紹介出来て。 岩井君

・2月度卓話を頂いた皆様へ。例会プログラムへのご協力ありがとうございました。 河合君

・クリーンハイク参加頂いた皆様、ありがとうございました。 小阪君

・二人三脚例会、梶村一太さんご参加有難うご座居ました。 松下君

・万屋様、本日はありがとうございました。ロータリークラブへぜひ入会をお待ちしています。 長山君

・京都中央信用金庫 菅原様・吉本様、京都銀行 平元様
本日はお忙しい所、高槻ロータリークラブの例会に御出席賜り本当に有難うございました。 西田君

・先週は無届欠席を致しました。申し訳ありませんでした。 白石君

・余り面白くない話を聞いていただくことなりますが、お許し下さい。 山口君

本日の合計 ￥ 70,000-
7/1よりの累計 ￥ 1,584,000-

◎R財団への寄付

石田 佳弘君 ￥5,000- 岩井 祐造君 ￥5,000-
片山美智子君 ￥5,000- 河合 一人君 ￥5,000-
西田 直弘君 ￥5,000- 白石 純一君 ￥5,000-

本日の合計 ￥ 30,000-
7/1よりの累計 ￥ 645,000 -
一人当たり平均 $112.76

◎米山奨学会への寄付

松下 浩章君 ￥5,000- 西田 直弘君 ￥5,000-

本日の合計 ￥ 10,000-
7/1よりの累計 ￥ 560,000-
〔 会員より ￥ 305.000- 〕
ｸﾗﾌﾞより ￥ 255,000-
一人当たり平均 ￥10,769-

◎青少年育成基金への寄付

坂野 信一君 ￥5,000- 羽根田茂子君 ￥5,000-
片山美智子君 ￥5,000-

本日の合計 ￥ 15,000-
7/1よりの累計 ￥ 595,000-

◎会員の動き

〇深野 裕一 会員

2016年4月20日より
2年10か月ご在籍でしたが、
会社の人事異動の為、
2月末日をもって退会となりました。
今後のご健勝をご祈念申し上げます。

◎2/27卓上花

スプレーカーネーション
…集団美

スイトピー
…青春の喜び・門出